

令和 5 年度

決算の概要について

公立大学法人山口県立大学

1 貸借対照表の概要

貸借対照表は、決算日（3月31日時点）における全ての資産、負債及び純資産を記載した法人の財政状況を表すものです。貸借対照表では、左側（借方）となる資産の部では、どのような形で運用しているか（資金の運用形態）を示しています。

（単位：千円）

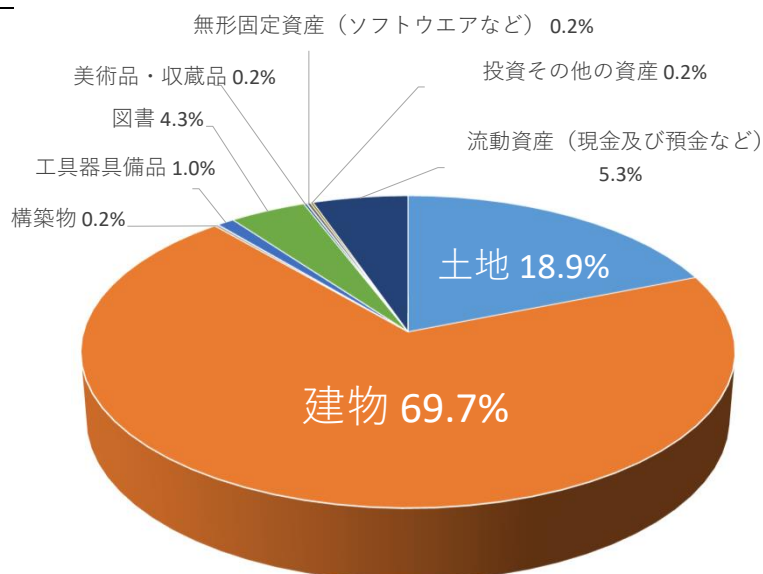
				令和5年度	令和4年度	増減	主な増減理由	
資 産 の 部	固 定 資 産	有 形 固 定 資 産	土地	2,371,602	2,400,054	△ 28,453	宮野公舎減損（△28,453）	
			建物	8,724,925	8,986,878	△ 261,952	減価償却（△262,415）	
			構築物	25,702	26,313	△ 611		
			機械装置	2,214	2,323	△ 109		
			工具器具備品	121,210	100,215	20,996	1号館整備（44,581） 減価償却（△29,753）	
			図書	536,974	532,078	4,895		
			美術品・収蔵品	20,000	20,000	0		
			車両運搬具	2,945	3,562	△ 617		
			有形固定資産合計	11,805,572	12,071,422	△ 265,850		
		無 形 固 定 資 産	ソフトウェア	24,348	36,546	△ 12,199	減価償却（△12,199）	
			電話加入権	21	21	0		
			無形固定資産合計	24,369	36,567	△ 12,199		
		投資その他の資産			19,342	9,093	10,248	
		固定資産合計①			11,849,282	12,117,083	△ 267,801	
	流 動 資 産	現金及び預金			606,024	835,629	△ 229,605	
		その他			60,214	45,373	14,841	
		流動資産合計②			666,239	881,003	△ 214,764	
資産合計（①+②）				12,515,521	12,998,086	△ 482,565		

※金額は単位未満を四捨五入しており、差引は必ずしも一致しない。

資産の状況（令和6年3月31日）

資産の構成割合は右図のとおりです。

資産合計額 125億円のうち、建物が69.7%と最も多く、以下、土地、流動資産、図書、工具器具備品となっています。



貸借対照表の右側（貸方）になる負債・純資産の部では、元手資金をどのような方法で集めているか（資金調達方法）を示しています。

（単位：千円）

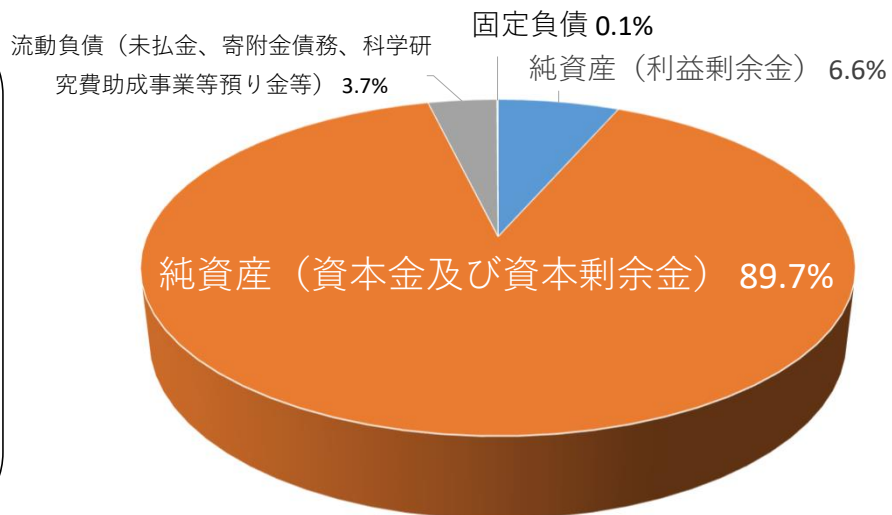
			令和5年度	令和4年度	増減	主な増減理由
負債の部	固定負債	長期繰延補助金等（資産見返負債）	7,746	613,422	△ 605,676	資産見返負債の廃止（△604,062）
		固定負債合計	7,746	613,422	△ 605,676	
	流動負債	預り補助金等	301	0	301	繰越金（301）
		寄附金債務	38,955	60,379	△ 21,424	寄附金受入（14,329） 寄附金収益化（△35,753）
		前受金	8,700	9,882	△ 1,182	
		科学研究費助成事業等預り金	27,039	20,464	6,575	
		預り金	12,533	22,072	△ 9,539	
		未払金	377,604	287,664	89,940	
		その他	828	4,603	△ 3,774	
		流動負債合計	465,960	405,064	60,897	
	負債合計③		473,706	1,018,486	△ 544,779	
純資産の部	資本金		13,601,923	13,601,923	0	
	資本剰余金		△ 2,380,553	△ 2,110,551	△ 270,002	施設費（13,275）、目積（42,610） 減価償却相当累計額（△295,220）
	利益剰余金		820,444	488,227	332,217	
	（うち目的積立金）		143,011	348,210	△ 205,199	今期取崩額（△345,216） 前期利益振替（140,018）
	（うち当期総利益）		677,433	140,018	537,415	資産見返負債の廃止（604,062）
	純資産合計④		12,041,814	11,979,600	62,215	
負債純資産合計（③+④）			12,515,521	12,998,086	△ 482,565	

※金額は単位未満を四捨五入しており、差引は必ずしも一致しない。

負債・純資産の状況（令和6年3月31日）

負債・純資産の構成割合は、右図のとおりです。

合計額125億円のうち、純資産の資本金及び資本剰余金が89.7%と最も多く、以下、利益剰余金、流動負債となっています。



2 損益計算書の概要

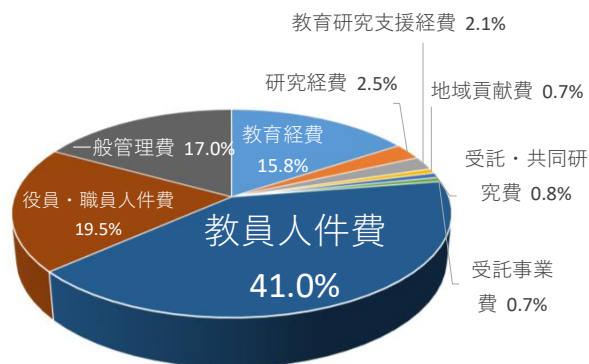
損益計算書は、一会計期間（4月1日から翌年3月31日までの一年間）に属するすべての費用と収益を記載した本法人の運営状況を表すものです。

（単位：千円）

		令和5年度	令和4年度	増減
経常費用	業務費			
	教育経費	379,612	377,605	2,007
	研究経費	60,457	61,485	△ 1,028
	教育研究支援経費	50,021	47,437	2,584
	地域貢献費	17,564	17,446	118
	受託・共同研究費	18,398	20,106	△ 1,708
	受託事業費	16,559	16,659	△ 100
	人件費（教員）	987,307	1,047,248	△ 59,940
	人件費（役員・職員）	469,410	401,551	67,859
	業務費計	1,999,328	1,989,536	9,792
一般管理費		410,154	242,220	167,934
財務費用		208	565	△ 358
経常費用合計①		2,409,690	2,232,322	177,368

経常費用の状況

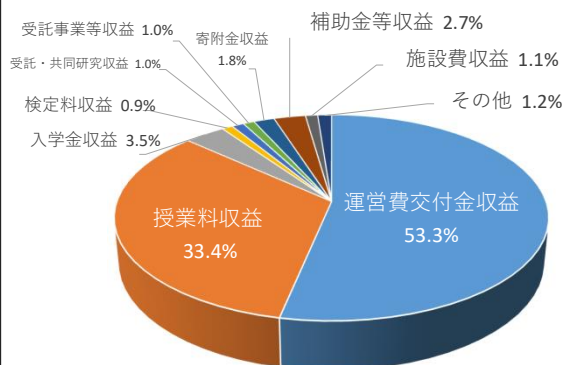
経常費用の構成割合は、下図のとおりです。費用合計額24億円のうち、人件費が60.5%と最も多く、以下、一般管理費、教育経費、研究経費となっています。



		令和5年度	令和4年度	増減
経常収益	運営費交付金収益	1,161,995	1,273,224	△ 111,229
	授業料収益	728,925	720,631	8,294
	入学金収益	77,152	75,763	1,389
	検定料収益	20,559	20,847	△ 288
	受託・共同研究収益	22,747	26,759	△ 4,013
	受託事業等収益	21,143	21,520	△ 377
	寄附金収益	39,040	9,377	29,663
	補助金等収益	59,684	38,065	21,619
	施設費収益	23,019	0	23,019
	資産見返負債戻入	0	34,491	△ 34,491
	その他	26,191	25,206	985
	経常収益合計②	2,180,455	2,245,883	△ 65,429

経常収益の状況

積立金の計画的な活用により事業を展開しており、本年度の収益合計額は、24億8千万円となります。そのうち、経常収益の構成割合は、下図のとおりです。運営費交付金が53.3%と最も多く、学生納付金（授業料・入学金・検定料）は37.8%となっています。

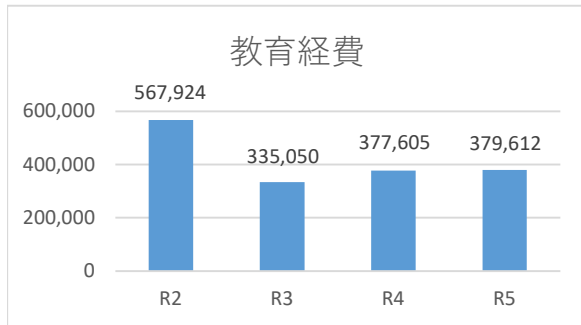


経常損失（利益）③（②－①）	△ 229,235	13,561	△ 242,797
臨時損失④	0	1,456	△ 1,456
臨時利益⑤	604,062	13	604,049
当期純利益⑥（③＋⑤－④）	374,827	12,119	362,708
積立金取崩額⑦	302,606	127,899	174,708
当期総利益⑧（⑥＋⑦）	677,433	140,018	537,415

※金額は単位未満を四捨五入しており、差引は必ずしも一致しない。

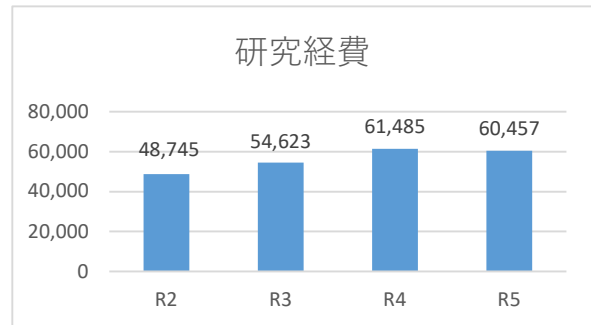
主要経費の年度推移

(単位：千円)



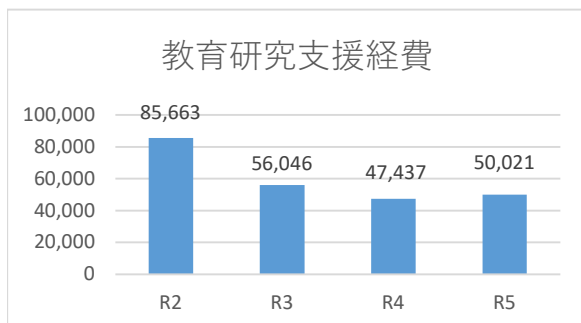
【教育経費】

本法人の業務として学生等に対し行われる教育に要する経費



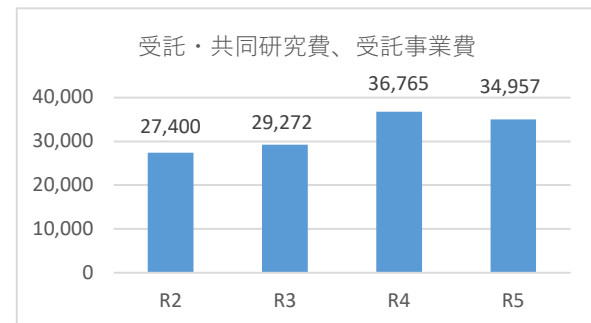
【研究経費】

本法人の業務として行われる研究に要する経費



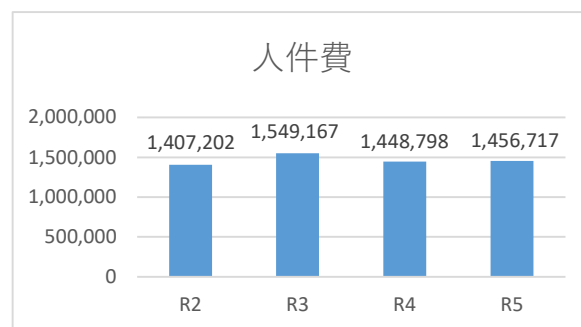
【教育研究支援経費】

本法人全体の教育及び研究の双方を支援するために設置している附属図書館等の運営に要する経費



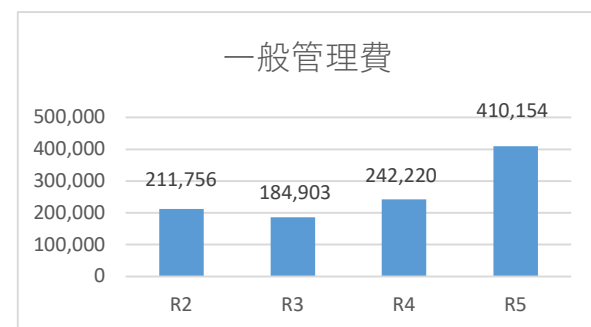
【受託・共同研究費、受託事業費】

受託・共同研究及び受託事業の実施に要する経費



【人件費】

本法人の役員、教員及び職員の人件費



【一般管理費】

本法人全体の管理運営を行うために要する経費

【主な要因】

教 育 経 費 : 令和2年度は、3号館の供用開始に伴い備品等の経費が増加
 教育研究支援経費: 令和2年度は、図書館の供用開始に伴い移転業務及び備品等の経費が増加
 人 件 費 : 令和3年度は、例年に比べ定年退職者が多く、退職金が増加
 一 般 管 理 費 : 令和5年度は、1号館の供用開始に伴い備品等の経費が増加

3 キャッシュ・フロー計算書の概要

キャッシュ・フロー計算書は、一会計期間（４月１日から翌年３月３１日までの一年間）における業務活動、投資活動及び財務活動の三つの区分に分けて資金収支の状況を表すものです。

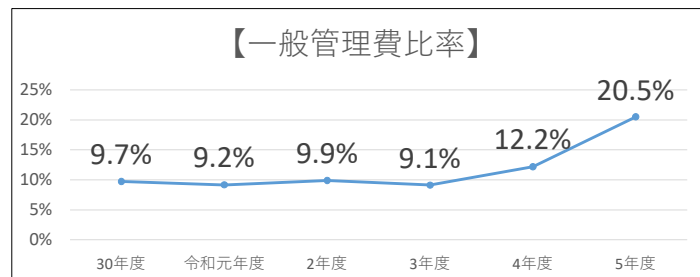
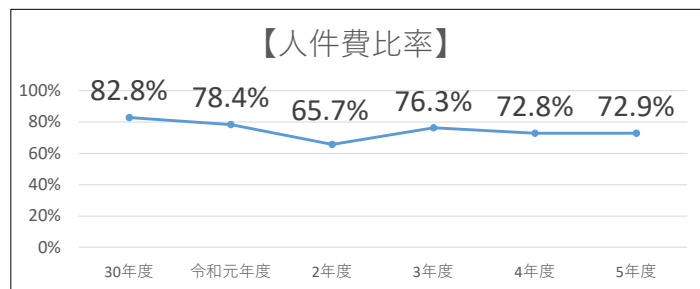
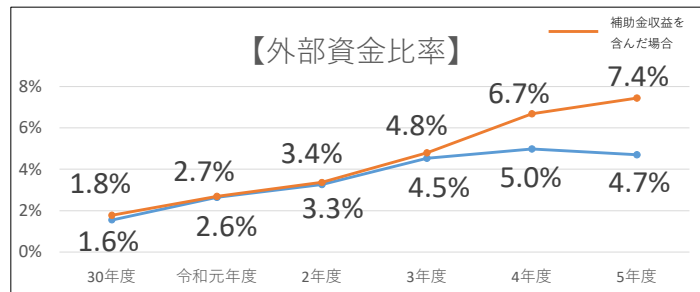
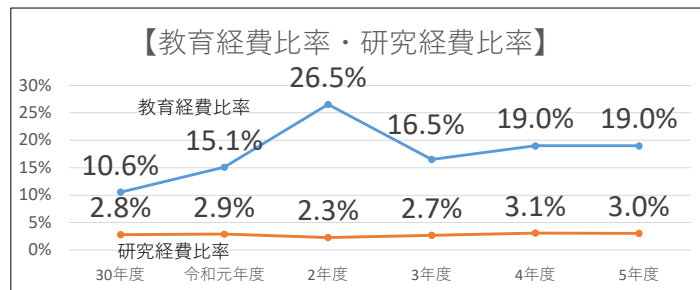
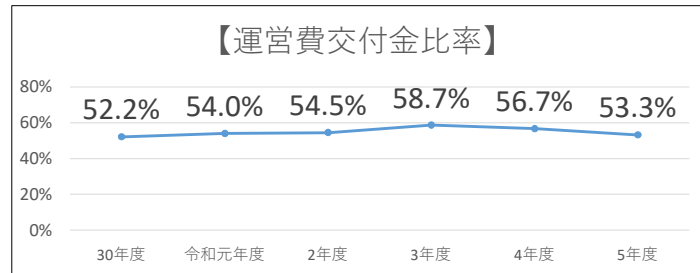
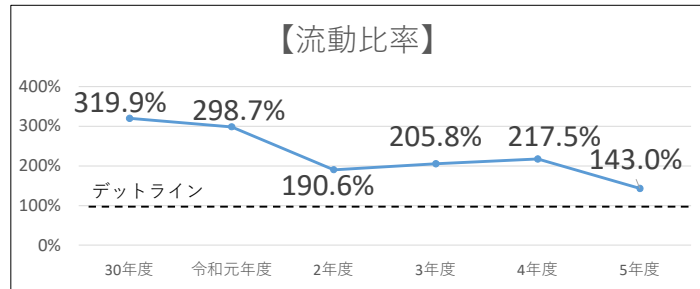
		令和5年度	令和4年度	増減
業務活動	原材料、商品又はサービスの購入による支出	△ 464,962	△ 393,700	△ 71,262
	人件費支出	△ 1,542,520	△ 1,566,321	23,801
	その他の業務支出	△ 255,894	△ 214,886	△ 41,008
	運営費交付金収入	1,161,995	1,273,224	△ 111,229
	授業料収入	640,462	652,967	△ 12,505
	入学金収入	77,434	76,186	1,248
	検定料収入	20,559	20,847	△ 288
	受託・共同研究収入	22,306	32,001	△ 9,695
	受託事業等収入	21,105	7,006	14,098
	補助金等収入	42,918	45,812	△ 2,895
	寄附金収入	14,329	29,627	△ 15,298
	その他の収入	24,821	26,276	△ 1,455
	科学研究費助成事業等預り金の増減額	12,431	5,619	6,811
	業務活動によるキャッシュ・フロー①	△ 225,017	△ 5,342	△ 219,675
投資活動	有形固定資産及び無形固定資産の取得による支出	△ 37,088	△ 22,490	△ 14,598
	定期預金の預入による支出	△ 300,000	△ 300,000	0
	定期預金の払戻による収入	300,000	300,000	0
	施設費による収入	36,294	0	36,294
	施設費による収入	96	96	0
	投資活動によるキャッシュ・フロー②	△ 698	△ 22,394	21,696
財務活動	ファイナンス・リース債務の返済による支出	△ 3,651	△ 3,372	△ 280
	利息の支払額	△ 239	△ 594	355
	財務活動によるキャッシュ・フロー③	△ 3,890	△ 3,965	75
資金増加額 ④（①+②+③）		△ 229,605	△ 31,701	△ 197,904
資金期首残高 ⑤		435,629	467,330	△ 31,701
資金期末残高 ⑥（④+⑤）		206,024	435,629	△ 229,605

※金額は単位未満を四捨五入しており、差引は必ずしも一致しない。

本表の活動内容について

- ・業務活動によるキャッシュ・フローは、通常の業務活動に伴う資金の動きを表します。
- ・投資活動によるキャッシュ・フローは、将来に向けての投資状況を表します。
- ・財務活動によるキャッシュ・フローは、資金調達に関する資金の動きを表します。

指標の説明	
文部科学省が国立大学法人等の年度決算について示す指標を基にしています。	
健全性・安定性	流動比率 【流動資産÷流動負債】 1年以内に支払うべき債務（流動負債）に対する支払能力を示す指標。比率が高いほど短期的な支払能力があることを示す。
	運営費交付金比率 【運営費交付金収益÷経常収益】 経常収益に占める運営費交付金の割合を示す指標。比率が高いほど交付金依存度が高いことを示す。
活動性	教育経費比率 【教育経費÷業務費】 教育活動への比重を示す指標。
	研究経費比率 【研究経費÷業務費】 研究活動への比重を示す指標。
発展性	外部資金比率 【（受託・共同研究収益+受託事業収益+寄附金収益）÷経常収益】 経常収益に占める外部から獲得した収益の割合で、資金獲得活動の巧拙を示す指標。
効率性	人件費比率 【人件費÷業務費】 業務費に占める人件費の割合で、比率が高いほど教育研究活動の財源が十分確保できないことを意味する。
	一般管理費比率 【一般管理費÷業務費】 業務費に対する大学の管理業務の費用の割合で、比率が低いほど良い。



【主な変化要因】

令和6年4月の新1号館供用開始に向けて、令和5年度に整備を行ったため、一般管理費が増加し、流動比率及び一般管理費比率の値が大きく変化しています。